朝日新聞　２０２４年７月１７日　朝刊 ２１ページ　茨城全県

ファッションで学ぶＳＤＧｓ

記者らが松前台小で出張授業

朝日小学生新聞を読み、ＳＤＧｓへの考えを深める児童＝守谷市立松前台小

守谷市立松前台小学校で16日、朝日新聞社によるＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の出張授業があった。受講したのは5年生の児童約50人。衣服の再利用を通じて社会課題の解決をめざす「古着ｄｅつながる」の仕組みを学んだ。

授業は2コマ連続で、朝日新聞水戸総局の富永鈴香記者らが講師を務めた。1コマ目は記者の日常や新聞社の仕事を紹介。富永記者は、茨城の広範な話題をカバーしていることを説明した。

児童は新聞が印刷され、家庭に届けられるまでを紹介した動画も視聴。掲載前の原稿を一文字ずつチェックする仕事を知り、驚いた表情を見せた。

2コマ目は、児童が持ち寄った古着を教材として活用した。日本の古着をカンボジアで販売し、再利用する「古着ｄｅつながる」は、利益の一部をポリオワクチンとして途上国に寄付している。これまでに約741万人分を寄付した。

この日は、集まった古着を再利用が可能かどうかを講師が説明。ビジネスがＳＤＧｓにつながっていることを話した。ファッション産業が環境に与える影響などについても考えた。

伊藤美結さんは「新聞は背景取材に力をいれていることを知った」、安部颯人さんは「カンボジアで再び衣類が使われると知ってうれしかった」と話した。（橋田正城）

◎ 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

承諾番号：24-2764